



2008年度 通訳案内士 スペイン語 試験 解答例

=== 2008年度のスペイン語試験についての小塾の見解 ===

2008年度のスペイン語試験は、正直、出題方法など大いに首を傾げざるを得ないという印象を色濃く残すものでした。実に遺憾です。

「大問1」のスペイン語の文章は、スペイン語人も納得しがたい「変な文章」でした。こうした問題多き文章を試験問題として出題してもよいのだろうか?! 大いに疑問に感じました。

この文章は、試験にも明記されていたように、「El mundo digital (XII/2002)」に掲載されていた“Un viaje al Japón decimonónico”からの出題でしたが、しかしながら、この「旅行記」は、『ラフカディオ・ハーンはおるか、日本の歴史についても、しっかりとした調査をすることもなく、あくまでも「旅行者の目」で、また「八雲が亡くなった年が例え1年ずれていても(複数の文献によると1905年ではなく1904年)」お構いなしに、更には、「筆の向くまま、八雲が亡くなった20世紀初頭と第二次大戦終了時点とを混同しつつ、21世紀の今の東京と20世紀初頭とを比較してしまうという時空間を飛び越えた実に曖昧模糊とした発想」で書かれた文章です。以上が、小塾ならびに、日本の大学でスペイン語を教える複数のスペイン語人講師たちに小塾が独自に聞き取り調査を行った結果です。

因みに、この書き手の「混同と曖昧さ」は、設問で展開されている出題者の翻訳文には反映されていません。よって、日本語だけを見るとさほどの問題がないような印象を受けます。しかしこれは、「ハーンが死んだ東京は」で始まる訳文、つまり要約的な設問形式になっているからです。

ともあれ、ここで問題なのは、即席に詰め込んだ知識だけで記事を書くマスコミ人が多くいるという周知の事実があることに留意しなかったことや、スペイン語人が書く文章、ましてや、有名紙に書くほどの記者が書く文章は安心という「神話」を信じていることのみが問題なのではなく、あくまでも、このような曖昧かついいかげんな文章を、通訳案内士試験の問題として採り上げたことにあると小塾は考えます。むしろ、この問題を選んだ側にも問題は大いにありますが、それを許した「通訳案内業試験」の主催者側にも多大なる責任が問われると考えます。

残念ながら、今回の試験の問題点はこれだけではありませんでした。

まず、大問1の問1で、「ラフカディオ・ハーンは文中で別の呼び方をされているが、何か。日本語で書きなさい」という設問です。確かにその呼び方は一つなのか否かは明確にされていないことから、採点の際に、二つの内のいずれをも正解にするというのであれば問題はないのですが、受験生は真剣に試験に取り組み、1分1秒でも時間を大切にしたいものです。最初から「答えは二つあるが、そのいずれかを日本語で答えよ」とあれば、どれほど受験生が助かったでしょうか。或いは、これは穿った考えであって受け入れられないと言われてしまうかも知れませんが、出題者自身の目には答えは「一つ」しか写っていなかったのかもしれない。



2008年度 通訳案内士 スペイン語 試験 解答例

もう一つの問題は、大問1の間3や大問2で見られる出題方法です。『文章訳(翻訳)の答えは唯一絶対ではない』にもかかわらず、この点についてまったく考慮されていなかったことです。つまり、出題者の訳語(文)と寸分違わない同じ訳(表現)以外は正解ではないとするような設問の仕方です。これではまるで受験者の翻訳能力を試しているのか？それとも日本語の推測(推理)能力を問うているのか？大いに疑問を残す出題方法であると言わざるを得ません。真剣に試験に取り組んでいる受験者の貴重な時間を、こうした出題者訳(表現・文章)にピタリと合わせる(日本語のテニヲハを合致させるのはそう簡単ではない)ことを強要し、そのために頭と時間をつかわせるといっては全くもって言語道断だとしか言いようがありません。翻訳の採点を機械的な方法で処理するなど絶対に不可能であると小塾は考えます。

受験生たちは、「将来、日本が生き残れる道は観光立国になること...」とする政府の意向(実際そうだと思います)に賛同し、真摯に、そして、時間とお金と努力を惜しまず、1年間、いや、それ以上の期間を受験のために費やしてきた人たちです。

通訳案内士は国が認める立派な職業であり、免許なくして同様の業務をすれば多大なる罰金(50万円以下：通訳案内士法第40条)が科せられる神聖な職業です。ましてや、外国語を学ぶ者にとって、同試験は、外国語の能力を正当に評価する国家が認定する唯一の資格試験でもあります。それだけに、語学を学ぶ者にとっては、同試験に合格することは最大の目的でもあり、最大のモチベーションでもあり、そして唯一価値のある資格なのです。こうした厳粛かつ責任ある試験の試験問題がこのような安易なものであって良いのでしょうか。

文責：日西翻訳研究塾 塾頭 碓 順治

解答例はこの下です

以下は日西翻訳研究塾が独自に回答した一解答例であり、主催者側が解答とするものとは異なります。可能な限り複数の「案」を提示しました。解答例は青色で表記しました。

1. 次のスペイン語を読み、問題に答えなさい。(25 点)

La primera vez que Lafcadio Hearn llegó a Japón corría la primavera de 1890, cuando los cerezos florecen y los campos de té y de arroz recuerdan al viajero que se encuentra en Asia. El escritor inglés se quedó (A). En un diario que figura entre los libros extranjeros más celebrados por los japoneses, Hearn retrata un país de hombres pequeños, con la mitad de la cabeza afeitada, vestidos de extraña forma y aferrados a un modo de vida tradicional que le hizo creer que había encontrado un pequeño paraíso inalterado durante los siglos, una isla ajena al paso imparable del tiempo.

Pero pasaron unos pocos años y los encendidos elogios dedicados al país que se había convertido ya en su casa se transformaron poco a poco (B) una crítica llena de tristeza. «Qué muerto está el viejo Japón y qué (C) es el nuevo que llega», escribiría más tarde desde Kobe, una de las ciudades que le dieron cobijo. La fortuna quiso que el viajero (D) unos pocos años después, en 1905, en Tokio, el icono no ya del nuevo Japón que rechazaba con amargura, sino de uno novísimo, recién estrenado, levantado de forma apresurada a lo largo de las últimas seis décadas a partir de las cenizas de la II Guerra Mundial.

<出展：El mundo digital (XII/2002) “Un viaje al Japón decimonónico”€35

問1 ラフカディオ・ハーンは文中で別の呼び方をされているが、何か。日本語で書きなさい。(2 点)

英国人作家 (または) 旅人

問2 空欄(A)、(B)、(C)、(D)に入る語または語句を下からそれぞれ1つ選び、記号を で囲みなさい。(各2点×4=8点)

- | | | | | | | | |
|-------|-------------|-----|-------------|-----|--------------|-----|--------------|
| A ア : | maravillado | イ : | maravillada | ウ : | maravillando | エ : | maravillar |
| B ア : | en | イ : | a | ウ : | de | エ : | con |
| C ア : | bueno | イ : | delicado | ウ : | grande | エ : | feo |
| D ア : | murió | イ : | muere | ウ : | muriera | エ : | había muerto |

問3 本文の内容と一致するように、下の空欄に適切な日本語を入れなさい。(各2点×5=10点)

ア：日記のなかでラフカディオ・ハーンは、日本は、頭を(半分剃り)、奇妙な服装をして、(古い習慣[慣習] / 伝統的な生活 / 伝統に従って生きること)に固執した小男の国だとか描いている。これを目の当たりにして、彼は、(時の経過とは無関係 / 止まることのない時の流れとは無関係)の島である、何世紀もの間変わっていない小さなパラダイスを見つけたのだと思い込んだ。

イ：ハーンが死んだ東京は、今や(彼が敢えて拒否していた新生日本のシンボル / 苦々しい思いで拒絶していた新しい日本の象徴)ではなく、新しく、(第二次世界大戦の廃墟[瓦礫] / 廃墟と化した第二次世界大戦)のあとこの60年の間に性急に作り上げられたものである。

問4 下線の部分を日本語に訳しなさい。(5 点)

ラフカディオ・ハーンが初めて日本にやって来たのは 1890 年の春のことだった。桜が咲き、茶畑や田んぼが旅人(ハーン)に、「アジアにやって来た」ことを意識(認識)させる時期(季節)だった。

2. 次のスペイン語文を読み、問題に答えなさい。(13点)

Los turistas que visiten Madrid y los habitantes de la Capital podrán, a partir de este año, realizar visitas personalizadas y guiadas por la ciudad en bicicleta, gracias a una nueva propuesta del programa 'Descubre Madrid' del Patronato de Turismo. Según informó el Ayuntamiento de Madrid, la utilización de este vehículo responde al deseo de promover un turismo respetuoso con el medioambiente.

En concreto se potenciarán las visitas a medida, diseñadas a petición de un grupo específico en el día y hora que deseen y con la temática que elijan. El propósito de impulsar esta línea de visitas es hacer llegar los atractivos turísticos de Madrid a todo el mundo.

<出展：El mundo digital (8/111/2008) “Turismo en bici”>

問1 本文の内容と一致するように、下の空欄に適切な日本語を入れなさい。(各2点×5=10点)

マドリードで(**自転車**)を利用した観光プログラムが始動する。これは(**環境**)に配慮した観光の実現にも貢献している。希望の(**日時**)に、選んだ(**テーマ**)に沿って、特定のグループの要望に合った(**オーダーメイド / 自分たちだけ / 特注 / オンデマンド / マドリード**)の観光が可能になる。

問2 下線部を日本語に訳しなさい。(3点)

この観光スタイルを推進する目的は、すべての人にマドリードの観光の魅力を発信することにある。

3. 次の文章を日本語に訳しなさい。(12点)

La Expo de Zaragoza que se celebrará entre el 14 de junio y el 14 de septiembre se convertirá, con la presencia de miles de expertos e intelectuales en el mayor foro mundial sobre el agua y el desarrollo sostenible que haya tenido nunca lugar.

En la Tribuna del Agua se espera la participación de 32.000 personas, que podrán asistir a 280 horas de conferencias y debates, impartidos por dos millares de expertos de los cinco continentes, durante los 93 días en que permanezca abierta la Expo 2008.

<出典：El mundo digital (18/111/2008) “La Expo de Zaragoza se convertirá en el mayor foro mundial para debatir la escasez del agua”>

6月14日から9月14日にかけて開催されるサラゴサ万博は、水と持続可能な開発というテーマについて、何千人もの専門家や知識人の参加を得て、過去例を見ないような水に関する世界規模の大きなフォーラムとなるだろう。

「水の論壇」では、5大陸の2,000人の専門家が参加し、2008年万博の93日間の会期中に開催される280時間にわたる講演会や討論会に32,000人の入場者を見込んでいる。

4. 次の文章をスペイン語に訳しなさい。(20点)

日本ではゴミは燃えるごみ、燃えないごみなどと分別して捨てます。ごみは決まった曜日に回収に来るので、その地区ごとに定められたルールに従って出さないといけません。特に生ごみは猫やカラスなどに荒らされないよう、回収日が来るまで外に出してはいけないと決めている地区もあります。また、紙類はなるべくごみとして捨てずにリサイクルします。一時期はテロ対策で駅などのごみ箱がすべて撤去され、ごみを捨てる場所がなくて困ることがよくありました。でも、ごみ箱がないからといって、道路にごみを捨ててはいけません。飲み物の自動販売機のそばにあるペットボトル・缶の回収用の箱に、紙くずや食べ物のごみなどを入れるのもやめましょう。

En Japón tiramos por separado los residuos clasificándolos en incinerables y no incinerables. Debemos sacarlos fuera según las reglas establecidas en cada zona ya que el día de la recogida de estos desperdicios está fijado. Incluso hay zonas que prohíben sacarlos, sobre todo la basura orgánica, hasta el mismo día de la recogida, en especial, para que los gatos o los cuervos no la revuelvan. Por otra parte, hay que procurar reciclar los papeles y no tirarlos. Hubo una época en que no sabíamos qué hacer con los deshechos ya que no había dónde tirarlos. La razón estaba en que todas las papeleras que había en las estaciones ferroviarias fueron eliminadas por temor a que las utilizaran los terroristas. No obstante, no hay que tirar los residuos en la calle aunque no haya papeleras. Tampoco uno debe tirar los papeles o restos de comida en los depósitos colocados junto a las máquinas expendedoras de bebidas destinados al reciclaje de latas o botellas de plástico PET de bebidas.

5. 「おにぎり」について8~10行のスペイン語で説明しなさい。(15点)

El onigiri es una bola de arroz, también llamado omusubi sobre todo en la parte oeste del archipiélago japonés, es uno de los platos más populares de Japón y equivale a los bocadillos ya que pueden llevarse al campo o bien al trabajo o la escuela. Consiste básicamente en arroz sazonado sólo con sal, pero también se puede rellenar o mezclar con diferentes ingredientes, tales como copos de bonito seco con salsa de soja, encurtido de nabo o/y de ciruela, atún mezclado con mayonesa, salmón asado, etc. Su forma suele ser triangular u ovalada. Asimismo, se suelen envolver con tiras de alga nori, la misma que se utiliza en el sushi. El onigiri está considerado como uno de los platos más familiares, ya que nos recuerda el sabor de nuestra madre. Es tan popular en la vida japonesa que suelen aparecer a menudo en los dibujos animados o en las películas japonesas.

2008年度 通訳案内士 スペイン語 試験 解答例

6. 次の語句をスペイン語に訳しなさい。(各1点×15=15点)

1. 紫陽花 (アジサイ) hortensia
2. オムツ pañal (同時に「オシメ」の表記がなされることが望ましい)
3. 懐中電灯 linterna / lámpara de bolsillo / lámpara de mano
4. クロスワードパズル crucigrama / damerograma
5. 二酸化炭素 dióxido de carbono / anhídrido carbónico
6. 磁器 porcelana / loza
7. 牡蠣 (カキ) ostra / ostión
8. 舌ピラメ lenguado
9. パセリ perejil
10. 催眠術 hipnotismo
11. 蛇 serpiente / culebra
12. ツバメ golondrina
13. 冥王星 Plutón
14. 痛風 gota
15. 動脈硬化 arteriosclerosis / arterioesclerosis / esclerosis arterial